

月例研究会 主な発表

2017.10 現在

年月日	発表番号	表 題	発表者	概 要	分類
2006年 6月	60601	社会における安全の合意形成について	田所	化学プロセスの安全とクライシスコミュニケーション	安全
8月	70801	ヒューマンエラーについての考察 (1)	桑野	ヒューマンエラーのモデル(JIHF)の提案	HF/HE
2月	80201	低次の人間行動とは対極にあるHFにかなった人間行動	前田	低次の人間行動の事例と高次の人間行動	HF/HE
3月	80301	二輪車の交通事故発生要因について	垣本	人間の特性と右回りについて	交通
6月	80501	職場の安全とメンタルヘルス (産業安全対策シンポ 報告)	木原	企業におけるメンタルヘルスの現状 化学会社のメンタルヘルス活動	安全
2009年 2月	90201	Fatigue Risk Management	前田	Fatigue Risk Factor 疲労の生理学的モデル Fatigue Avoidance Scheduling Model	安全
	90202	要因分析手法の調査 (電力会社調査関連)	渡利	同一事例に対する複数の分析手法適用比較	安全
	90204	ヒューマンエラーについての考察 (2)	桑野	ヒューマンエラーのモデル(JIHF)の提案	HF/HE
8月	90820	航空事故調査と経済効果	桑野	懲罰なしの正直な申告の利点 社会利益のために何に費用をかけるべきか	安全
12月	91201	Quo Vadis? 海事社会と海事教育のゆくえ	井上	国際海上輸送 日本の海事社会が抱える問題	海上
2010年 1月	100101	自衛隊艦と韓国船との衝突事故 についての分析	井上	関門事故に対する分析	分析
	100402	空港安全管理システムにおける リスク評価ガイダンス	前田		航空
	100403	『なぜなぜ分析』をどう使うか? <序論>	木原	(関連発表 渡利 前田)	分析

年月日	発表番号	表題	発表者	概要	分類
5月	100501	応用行動分析学の教育現場への応用	(三田地)	(招待講演)	分析
	100703	ヒューマンエラーについて	桑野		HF/HE
	100704	航空における国家安全プログラム(SSP)について	渡利	JCAB安全情報分析委員会情報の紹介	航空
11月	101101	最高裁判決に対する研究所見解の事前検討	桑野		法律
	101106	電力会社制御室 ディスプレイの改善	渡利	コンピュータ画面の色識別度基準による見易さの適用	色彩
2011年 1月	110101	M-SHELモデルを使用したヒューマンファクターの口語的な定義について?	前田		HF/HE
2月	110201	製品安全とリスクコミュニケーション	本江		安全
	110203	脳のエラーモードについて	渡辺	脳内にもあるエラー要因に関して	HF/HE
3月	110302	脳のエラーモードについて(その2)	渡辺	脳内にもあるエラー要因に関して(その2)	HF/HE
	110304	ヒューマンエラーと刑事罰の検討	桑野	朝日新聞の「主張」欄記事として投稿	法律
4月	110402	製品安全と品質安全について	本江		安全
6月	110601	東日本大震災におけるヒューマンファクター的考察	前田		災害リスク
	110602	大災害時のリスクマネジメントについて	桑野	3月に発生した東北大震災と津波に関して	災害リスク
	110902	リスクテイキングにかかわる研究について	本江		安全

年月日	発表番号	表題	発表者	概要	分類
	111003	災害時におけるリスクマネジメントの考え方	前田渡利	電力会社の災害時リスクマネジメントの研究	災害リスク
	111004	船舶における自然災害時の緊急対応について	井上	東日本大震災・津波被害から船の緊急対応を考える	海上
	111105	最高裁判決に対する研究所見解の事前検討	桑野	安全と法律	法律
	111203	「ペーパーLOT」について	前田		研修
	111206	これからのヒューマンファクター研究の方向性について	中島		HF/HE
2012年 2月	120201	市立総合病院における医療事故について	桑野	VTA、なぜなぜ分析、及びM-SHEL分析による対策の立案、病院案との比較・検討、評価	医療
3月	120301	コーチングについて	大橋		研修
4月	120402	大災害時のリスクマネジメントについて	渡利	事例による大災害におけるリスクマネジメントのあり方	災害リスク
5月	120501	JAPA Flight test委員会シンポジウム報告	田中	シンポジウム参加報告	航空
	120504	公共交通事故被害者支援の在り方について	垣本		交通
6月	120602	疲労マネジメントについて	垣本		心理
	120603	海難事故調査の現状と展望	井上		海上
9月	120901	カラーリングの基礎知識	大橋		色彩
12月	121201	安全人間工学部会報告(PiNCについて)	本江		安全

年月日	発表番号	表題	発表者	概要	分類
2013年 1月	130103	「接遇」の基礎知識	大橋		教育・ 研修
2月	130201	安全文化構築プロセスの分析に向けて	岡本		安全
3月	130301	社員の倫理意識に向けたHF研修について	塚原	電機機器製造会社研修	教育・ 研修
4月	130404	コーチング技法について (その1)	大橋		教育・ 研修
5月	130502	コーチングについて (その2)	大橋	理論的背景と実践取り入れの効用	教育・ 研修
6月	130601	日赤血液事業本部分析等研究の概要	田中	事例分析報告書の概要説明	衛生
8月	130803	コーチング(その3)タイプ分け	大橋		研修
9月	130903	安全学と安全設計思想	向殿	(招待講演)	安全
12月	131202	安全性向上へのスマートフォンの活用	渡辺	情報処理の合理化	技術
2014年 1月	140101	TRM訓練における課題解決に関する2, 3の課題について	桑野 大橋 渡辺 本江	グループ演習のためのモデル演習(2)	教育・ 研修
2月	140202	「注意」についての最新研究	本江	人間の「注意」に関する研究の状況	心理
3月	140302	生理学的ヒューマンファクターの考察	桑野	生理学的見地から考える安全と表一マンファクター	HF/HE
4月	140403	企業組織の安全文化と意識調査	渡利	調査ツールの紹介とアンケート事例	HF/HE
4月	140404	大川小学校事故調査報告書について	垣本	石巻市で開催された「大川小学校事故について検証する委員会」出席報告	安全

年月日	発表番号	表題	発表者	概要	分類
5月	140502	M-SHEL視点によるシステム安全性向上の研究	渡辺	システム安全性を向上するために、M-SHEL視点を導入する方策(安全工学シンポジウム発表)	HF/HE
6月	140602	組織罰についての考察	本江		法律
6月	140603	MIDAによる事故解析の検討	渡利	Boeing/FAAが開発したMEDA(Maintenance Error Decision Aid)の解説と事例研究	分析
10月	141003	リーズン著ヒューマンエラー	十亀 洋	完訳を終えて、ヒューマンエラーについて考える	HF/HE
11月	141104	安全学について	向殿		安全
2015年 1月	150103	JA123便事故とその教訓	藤原洋	元事故調主席調査官 NPO法人航空鉄道安全推進機能	航空
3月	150302	ERM(Engine-room Resource Management)について	本江		海上
3月	150303	医療安全について	北野		医療
5月	150504	操船のヒューマンファクターについて	井上		海上
12月	151202	自動車等運転者相互間の意思疎通について	田中	実地調査に基づく研究成果の発表 (ウインターの使用開始位置について)	交通
	151204	「津波てんでんこ」	片田	防災安全工学について (群馬大学大学院)	安全
2016年 1月	160104	企業人のメンタル・ヘルスを考える 一心的ストレス症候群一	西川		心理
3月	160302	原因分析とHFACS	渡利	HFACS(Human Factors Analysis and Classification System)による分析検討	分析
	160303	TRM 訓練をいかに実施するか	桑野	TRM(Team Resource Management)訓練の実際	教育・ 研修

年月日	発表番号	表題	発表者	概要	分類
4月	160403	海難審判民事訴訟について	井上		法律
5月	160502	M-SHEL視点によるシステムリスク対策	渡辺前田	システムリスクマネジメントにM-SHEL視点を導入する(安全工学シンポジウム発表)	安全
6月	160602	電力会社TRM訓練 新カリキュラム 訓練手法の検討	田中	制御所改編(大規模化)に伴うTRM訓練のあり方検討	教育・研修
7月	160703	過失責任の法的根拠について	池田	過失責任の法的な根拠の悦明	法律
9月	160902	医療事故調査制度について	北野	制度紹介	医療
	160903	話題提供	福成雄三	「安全衛生水準と実効値」「人間工学への思い」「評価指標e度を用いた職場改善活動の展開」など	医療
10月	161002	ガス製造施設の安全意識調査	渡利	ガス製造施設事故の人的要因と対策の検討	分析
11月	161103	行動分析学について	河嶋		分析
2017年1月	170103	現場力の低下にどのように対応するか	中村	(東工大大学院)	管理
2月	170202	糸魚川市大規模火災から学ぶ	桑野	大規模火災の検証と対策	安全
2月	170203	システム安全性に及ぼすリスクと、HEおよびHEマネジメント	渡辺渡利	HEマネジメントJ-HELPの提案(安全工学シンポジウム発表)	安全
3月	170302	子供の安全	桑野	子どもの目線で考える子供の安全	安全
4月	170402	安全文化改革ミーティングの成果について	田中	電力会社研修	教育・研修
	170403	刑事手続きについて	池田	刑事事件の起訴手続きについて	法律

年月日	発表 番号	表 題	発表者	概 要	分類
5月	170501	(わかっている文化)	西川	「いちいち言わなくてもわかっているはず」 「自分がやらなくても誰かがやるはず」の心理	心理
6月	170602	風通しの良い組織とは	桑野	縦割り組織、官僚的組織を柔軟にする	安全
	170603	事故後12年経過した福知山線 事故について考える	垣本		交通
7月	170702	「レジリエンス」について	桑野	安全工学シンポジウム OSの紹介	安全
	170703	企業における行動分析」および美容 師のスキル訓練に関する行動分析 学の活用	河嶋顧問		分析
9月	170903	東日本大震災における避難誘導の 調査結果と異常時イメートレーニン グ法	JR東 楠神	3.11での鉄道会社職員の行動の調査と、 それに基づく安全対策の開発	交通
10月	171001	逸脱から故意の違反まで	桑野	ヒューマンエラーの考え方について再考する	HF/HE
	171002	医療におけるレジリエンス	北野		